（1990年７月13日 第三種郵便物認可）

自治労きょうと

毎月１日、15日発行

6/1・15
2025
第897号

発行所・自治労京都府本部・〒604－0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル２F
TEL.075－252－5932・FAX.075－231－4918　発行人・岡本哲也　編集人・森本尚秀
定価　一部10円　本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932　FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/

労働組合の活動は――大切な仲間と出会える場所

新入組合員歓迎集会を開催

▲労働組合の活動をきっかけに仲間との交流を

府本部は5月18日、ホテルグランヴィア京都で「新入組合員歓迎集会」を開催。10単組53人が参加した。

主催者を代表して岡本執行委員長があいさつをした後、増永書記長から「労働組合のイロハ」と題して講演を行った。労働組合の必要性や賃金アップ、手当・休暇、福利厚生など、運動によって勝ち取った成果を説明し、助け合いの精神からつながり、団結することの大切さなどを参加者に伝えた。

続いて自治労共済の島田さんが「ライフプランとじちろうの共済」について説明した。保険と共済の違いや保障の備え方、若いうちから加入することのメリットなどの話に参加者は聞き入った。

その後、交流会では青年部が企画した「ITOゲーム」を行い、参加者同士のコミュニケーションを図るための場を設けた。ITOは、数字を言葉で表現し、互いの数字を推測しながら小さい順に並べることで、意思疎通を図る協力型のカードゲーム。1人1枚ずつ1～100までの数字カードが配られ、テーマ（お題）に沿って自分の数字を表現し、他のプレイヤーの数字を推測しながら、小さい順に並べるように協力する。全員の手札を正しい順番に並べることができれば成功となる。

青年部で考えたテーマは「おにぎりの人気の具」「ひと口ちょうだいで許せないもの」「ゾンビと戦うための武器」など5つ。5回のゲームを行い、ゲームが進むにつれ、小さい順にカードが並ぶテーブルが出てくると、会場は大いに盛り上がった。

乾杯の発声では竹内青年部長は「私は労働組合で特に魅力的なのは、いろんな職場の人とつながれることだと思う。同じ職場の仲間も大切だが、別の市町村の仲間も貴重な存在。自分の職場では相談できないことでも気を遣わず相談できたり、自分の市町村では事例のない案件について他の市町村での対応方法を聞いてみたいときに、組合の仲間がつないでくれたりできる。組合にはそんな仲間と出会える機会が数多くあるので、皆さんもぜひ組合を通して仲間を作ってみてほしい。そして、皆で一緒に働きやすい職場環境を作ろう」とあいさつした。引き続き、新入組合員はゲームや食事を通じて交流し大切な仲間との時間を楽しんだ。

▲「一口ちょうだいは許せない」食べ物で盛り上がる

社会や政治における女性参画、ジェンダー平等をめざして

府本部ジェンダー平等学習会を開催

京都選挙区
山本わかこ

第27回参議院議員選挙
府本部推せんの予定候補が講演

比例区
岸まきこ

府本部は5月24日、京都商工会議所で「2025ジェンダー平等学習会」を開催。各単組から44人が参加した。「男女がともに担う府本部委員会」と、女性の政治への意識を高めるために立ち上げられた「岸まきことがんばる女性ネットワーク会議（略：京都女性ネット）」との共催とした。

冒頭、男女がともに担う府本部委員会の西村友喜副委員長が主催者あいさつで、「日本のジェンダーギャップ指数は146か国中118位（2024年度）で先進国の中では最下位。私たちはこの状況を受け止め、少しでも前進するために意識を高めていかなければならない」と訴えた。

学習会前半では、7月に執行される第27回参議院議員選挙京都選挙区予定候補者の立憲民主党京都府第2区支部長の山本わかこさんが、「ジェンダー平等と政治」をテーマに講演を行った。講演では、自身がこれまで、親の事業の行き詰まりや病気などで、経済的な苦労を抱えながら、民間会社勤務を経て、福山哲郎参議院議員秘書として、奮闘したことや、2017年の衆議院議員選挙において比例区当選を果たし国政で力を尽くしたこと、その後の衆議院選挙において京都5区で惜敗しながらも、選挙区地域で住民とともに課題に取り組んだことなどを取り上げた。その中で、一見平等に思える地域の団体活動において、女性が下位に置かれる「無意識の偏見」に直面した自らの経験も紹介した。

後半には、自治労組織内参議院議員の岸まきこさんが、「国政報告と国の政策におけるジェンダー平等」をテーマに講演を行った。岸まきこさんからは、現在、立憲民主党が法制化にむけ取り組んでいる「選択的夫婦別姓制度」について、現時点の進捗状況と自身の見解が話された。「現在、婚姻により女性が男性の姓を名乗る比率は95%。憲法によると、『婚姻後の姓は両性の合意により決定される』とされているにもかかわらずこの状況だ。日本は見えない偏見（アンコンシャスバイアス）が解消されていない。国会の本会議においても、質問に立った1期目の女性議員だけが野次を浴びる。このような違和感のある状況を変えていかなければならない。多様性を認め、誰もが自由に意思表示や行動ができる社会にしていかなければならない。そのために、引き続き皆さんの力を結集し、力をいただきたい。ともにがんばろう」と訴えた。

▲岸まきこさんに必勝祈願の折鶴

府本部政治・政策学習会

ガンバロー

とき　6月13日(金) 18：30～
ところ　ラボール京都　2Fホール
弁士　岸　まきこ（組織内参議院議員）
　　山本わかこ（参議院京都選挙区予定候補）

双思交

京都労働局によると、2024年に府内の職場で熱中症によって4日以上休業した死傷者数は26人で、過去最多となった。21年は5人、22年は10人、23年は17人（うち死亡1人）と右肩上がりで増加し続け、死亡に至るケースも出ている▼厚生労働省は、職場における熱中症対策を強化するため、2025年6月1日から罰則の伴う改正労働安全衛生規則を施行した。改正内容は、WBGT（暑さ指数）28度以上または気温31度以上の環境で、連続1時間以上または1日4時間以上の作業を実施する場合、「報告体制の整備」、「実施手順の作成」、「関係者への周知」を事業者に義務付けるといったもの。熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、重篤化を防止するためだ▼地球温暖化が、生命を脅かす事態となっている、との警鐘を他人事のように思っていたが、いよいよ看過できない深刻な事態へ突入していると認識するべきだ。自分と仲間の命を守る術を労使一体で講じてほしい。（英）

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

府本部スポーツ大会・フットサル大会

スポーツを通じて 仲間との交流

府本部は5月10日、2025年度フットサル大会を開催。会場の八幡市市民体育館には、9チーム96人が集まった。

▲9チームが参加し、熱戦を繰り広げた

試合は2ブロックに分けた予選リーグで各チーム2試合ずつ戦った。勝ち点と得失点差で各リーグ1位となった京交労組・タッチと京都市職清掃支部・サステナによる決勝戦を行った。

結果は、京都市職サステナチームが2-1で勝利し、優勝した。

府本部は今後も組合員同士の交流を深めるための取り組みを進めていくので積極的な参加をお願いしたい。

▲京都市職・サステナ

自治労京都市職・サステナが優勝

1コート	京都交通労組梅津		八幡市職労エンパイロメンツ		自治労京都市職デストラ		京都交通労組タッチ				試合数	勝ち	分け	負け	勝ち点	得点	失点	得失点	順位
京都交通労組梅津			0	0-2	0	0-4					2	0	0	2	0	0	6	6	4
八幡市職労エンパイロメンツ	3	2-0					0	0-3			2	1	0	1	3	2	3	-1	3
自治労京都市職デストラ	3	4-0					0	1-6			2	1	0	1	3	5	6	-1	2
京都交通労組タッチ			3	3-0	3	6-1					2	2	0	0	6	9	1	8	1

2コート	宇治田原町職		京都交通労組MX		京田辺市職		自治労京都市職サステナ		京都交通労組チームK		試合数	勝ち	分け	負け	勝ち点	得点	失点	得失点	順位
宇治田原町職			1	1-1					3	4-1	2	1	1	0	4	5	2	3	2
京都交通労組MX	1	1-1			1	1-1					2	0	2	0	2	2	2	0	3
京田辺市職			1	1-1			1	1-1			2	0	2	0	2	2	2	0	3
自治労京都市職サステナ					1	1-1			3	7-1	2	1	1	0	4	8	2	6	1
京都交通労組チームK	0	1-4					0	1-7			2	0	0	2	0	2	11	-9	5

政治の課題について熱い議論

青年部労働学校に参加

▲各県の青年部員と議論（右端が廣澤さん）

自治労本部青年部は4月27日から2日間、自治労青年労働学校（実施編）を東京・林野会館で開催し、京都から1名が参加した。

この研修の最大のテーマは、「自治労運動と政治との関わり」。特に各政党の綱領および政策について、増税や103万円の壁といった政治的トピックごとに比較・分析する時間は非常に興味深く取り組むことができた。

また、参加したメンバーは各県本部の青年部長や単組の執行部クラスなど経験豊富な青年層が多く、職場における政治との関わり方について、分散会で大いに議論が盛り上がった。

2日目は岸まきこさんとのパネルディスカッションがあった。私は、岸まきこさんに「自民党が少数与党となり石破政権に移行してからの野党としての立ち回りはどのような変化があったか」と質問した。岸さんは、「自民党が少数与党の状況だからこそ野党としても声をあげやすい。強行採決の嵐だった安倍政権下からすればよい変化だ」と、混迷を極める昨今の政治情勢にあってもなお希望があることが示された回答を受けた。

▲岸まきこさん

自分自身、政治について興味を持って見守っているが、今回の研修で学び、議論した内容を、京都の仲間にも広げていきたい。今回の研修で一緒になったメンバーは、職場内の問題と政治とを有機的に絡めて考えられる頼りがいのある青年が多かった。府本部青年部でもそういう若者を増やしていければと感じている。

（青年部・廣澤大地）

安心職場へ予防と組織対応

府本部がハラスメント学習会

府本部は5月21日、京都商工会議所にて、ハラスメント学習会を開催。8単組22人が参加した。職場におけるパワーハラスメント対策が事業主に義務化されたことに伴い、府本部および単組が雇用する書記と雇用主としての単組役員、評議会役員を対象とした。講師には自治労本部の榎本書記次長を招き、「あらゆるハラスメントをなくしていこう」と題した講演を受けた。

講師は、ハラスメントの類型とその予防と解決に向けた組織としてのマネジメントについて説明し、職場におけるハラスメントの早期発見と対応の重要性について述べた。「職員の様子に変化があれば、日常的な会話や気づきから積極的に声をかけることが大切で、相談しやすい環境づくりが求められる。相談を受けた際には、傾聴の姿勢を貫き、相談者の感情に寄り添いつつ、安易に同意したり感情的に判断したりしないことが重要」と話した。また、相談内容の秘密を守り、プライバシーへの配慮も不可欠と述べ、「ハラスメントか否かの判断には時間をかけ、相談者の希望を尊重しながら対応を進めるべき。組合も対策委員会などを通じて積極的に関与する必要がある。組合は、労働者が安心して相談できる存在として、信頼関係の構築と冷静な対応が求められる」と結んだ。

府本部では、府本部および単組の専従役職員を対象にハラスメント外部相談窓口を設置している。何かあればご相談を。

●外部相談窓口（委託）
NPO法人あったかサポート　TEL075-632-8962

毎月先着20名様限定！府本部マイカー共済「見積もり・紹介者」キャンペーン実施中！！

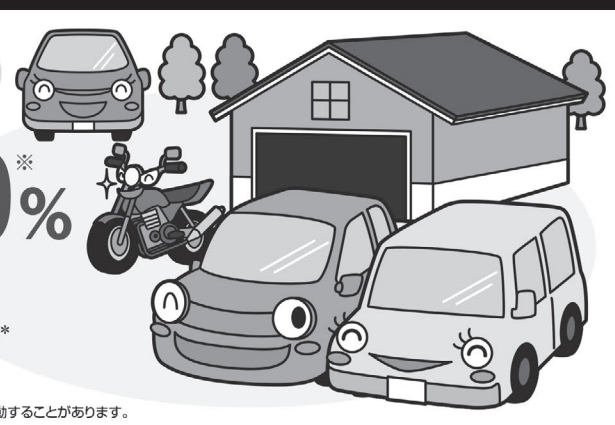
じちろう マイカー共済
自動車総合補償共済

団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています。

契約者＝組合員で
家族の車も 団体割引30.0%※
2024年11月更新契約より（新規契約は2024年10月効力開始契約より）

主たる被共済者になれる方
1 組合員本人
2 組合員の配偶者
3 組合員の同居の親族*
4 組合員の配偶者の同居の親族*
＊別居の未婚の子も含まれます。

現在ご加入の保険（共済）の適用等級や過去履歴によっては、契約をお引き受けできない場合があります。
※団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。



こくみん共済 coop NEWS
5124A023
契約にあたってはパンフレットをご覧ください
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
こくみん共済 coop 〈全労済〉 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合
自治労共済推進本部は「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

今なら見積もりをいただいた毎月先着20人の組合員に、Amazonギフトカードプレゼント。紹介者にも進呈するキャンペーンを実施中。詳しくは所属の組合まで。